

和歌山工業高等専門学校と県土砂災害啓発センターの 共同開発による「防災学習砂場」が 第1回高専防災減災コンテストで文部科学大臣賞を受賞

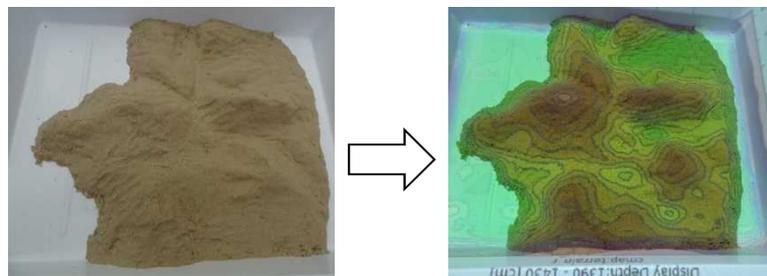
和歌山工業高等専門学校(辻原研究室)が和歌山県土砂災害啓発センターと共同開発した「防災学習砂場(AR砂場システム)」が、令和5年3月6日に東京国際フォーラムで開催された第1回高専防災減災コンテストの最終審査会において文部科学大臣賞(最優秀賞)を受賞しました。

1. 高専防災減災コンテスト

- ・高専生が地域の防災力・減災力を向上させるアイデアを競い合うコンテストです。
- ・高等専門学校制度開始から60周年を迎える令和4年度に第1回が実施されました。
- ・今回は18校28件の応募から書類審査を通過した8校10件の発表により最終審査が行われました。
- ・主催：独立行政法人国立高等専門学校機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所、公益財団法人国際科学振興財団

2. 防災学習砂場 (AR砂場システム)

- ・土砂災害の学習において不可欠な地形や等高線の理解を深めるため、和歌山工業高等専門学校と和歌山県土砂災害啓発センターが共同開発しました。
- ・砂の形状を地形に見立て、砂が変形すると砂に投影した等高線や標高別の配色も変化します。



AR砂場システム

- ・審査委員長(川島宏一筑波大学教授)のコメント
「土砂災害に関する教材を作るニーズと、教育現場からの地形を学ぶ難しさを解決し、開発したシステムを実際の学習で活用し、多くの関係者の協力を得た取り組みであり、災害リテラシーの向上に大いに貢献するもの」



発表状況



受賞記念撮影



ポスターセッション